

福建省および主要都市の経済概況(2016年)

【地理・歴史】武夷山などの山脈に囲まれ、陸地面積の80%以上は山地・丘陵。海岸線は3,752キロで全国2位と海洋資源は豊富。5万t級以上のバースを建築可能な港が7カ所。台湾とは新竹港まで68海里(約126キロ)と大陸側で最も近接、台湾住民の約8割は福建出身者の子孫とされる。福建出身の華僑・華人は1,000万人を超え、176の国・地域に広がる。

【経済・産業】台湾の国民党との軍事的緊張などで経済発展は立ち遅れ。1980年代の改革開放政策の開始や台湾との緊張緩和により、廈門市が経済特別区に指定されるなど発展が加速。主に福州市、廈門市を中心に発展が進む。電器製品、板ガラス、エチレンなどの生産が盛ん。台湾との結びつきが強く、輸入の約13%、対内直接投資の約4分の1を占める。

【その他】2015年4月に中国(福建)自由貿易試験区が設置。福州市、廈門市、平潭島の3つのエリアから成る。平潭島は福州市南東に位置し、強風・寒冷といった過酷な自然環境などから、省内でも最も貧しいエリアの一つだった。2009年に「平潭総合実験区」が設立、インフラ投資が進み、台湾企業向けのインキュベーション施設が整うなど大型投資が相次ぐ。習近平総書記は福建勤務時代、平潭島に17年間で21回訪問したとされる。

【日系企業】福州市、廈門市を中心に自動車、電子・電機、機械、化学品、食品など約150社。



	単位	福建省	対前年増減	全国に占める福建省の割合	福州市	対前年増減	福建省に占める福州市の割合	廈門市	対前年増減	福建省に占める廈門市の割合
面積	万km ²	12.4	—	1.3%	1.2	—	9.9%	0.2	—	1.4%
常住人口	万人	3,874	—	2.8%	757	—	19.5%	392	—	10.1%
GRP	億元	28,519	8.4%	3.8%	6,198	8.5%	21.7%	3,784	7.9%	13.3%
うち第1次産業	億元	2,364	3.6%	3.7%	493	4.1%	20.8%	23	▲5.5%	1.0%
うち第2次産業	億元	13,913	7.3%	4.7%	2,598	7.0%	18.7%	1,559	5.7%	11.2%
うち第3次産業	億元	12,242	10.7%	3.2%	3,107	10.7%	25.4%	2,202	9.8%	18.0%
固定資産投資	億元	22,928	9.3%	3.8%	5,184	6.8%	22.6%	2,160	14.4%	9.4%
社会消費品小売総額	億元	11,675	11.1%	3.5%	3,763	11.6%	32.2%	1,283	9.8%	11.0%
都市住民一人当たり可処分所得※2	元/年	36,014	8.2%	—	37,833	8.2%	—	46,254	8.6%	—
貿易額※2	億元	10,352	▲1.2%	4.3%	2,082	1.8%	20.1%	5,092	▲1.5%	49.2%
うち輸出※2	億元	6,839	▲2.2%	4.9%	1,407	8.9%	20.6%	3,094	▲6.7%	45.2%
うち輸入※2	億元	3,513	▲0.7%	3.3%	675	▲10.2%	19.2%	1,997	8.0%	56.9%
対内直接投資額※2(実行ベース)	億ドル	82	6.7%	6.5%	18	8.1%	22.1%	22	6.2%	27.1%

出所：中国統計局、福建省人民政府、福建省統計局、福州税関、福州市統計局、廈門統計局 (※1 各数値は小数点以下、%は小数点第二位以下を四捨五入している。 ※2 GRP伸び率は実質。)